

西予市名誉市民 一覧

(敬称略)

氏名 (生没年)	出身地 (居住地)	事績	贈号年
たなか つねとし 田中恒利 (大正14年～平成26年)	明浜町俵津	元日本社会党衆議院議員。 昭和44年総選挙に旧愛媛3区から初当選し、昭和55年からは5回連続当選。平成6年から平成7年まで衆議院内閣委員長を歴任した。平成8年に政界を引退後、「食とみどり、水をまもる県労農市民会議」の議長を務めた。	平成8年 (旧明浜町名誉町民)
いせき じゅんじ 井関順二 (大正5年～平成17年)	野村町野村	医師、元東宇和郡医師会長、元野村町議会議員。 昭和21年に帰郷し産婦人科医院を開業。医業の傍ら野村町議会議員を1期務めた。地域医療の担い手として疾病予防と健康増進に尽力した。	平成7年 (旧野村町名誉町民)
ますだ じゅんいちろう 増田純一郎 (大正15年～平成30年)	城川町窪野	元城川町議会議員、元城川町長。 昭和34年城川町議会議員に初当選。昭和40年に城川町長に初当選。平成5年まで7期を務め「わがむらは美しく」をスローガンに掲げ、グリーンツーリズムを推進。また、城川を「奥伊予」として商標登録し西予市に継承されている。	平成8年 (旧城川町名誉町民)
ささき りょういち 佐々木良一 (昭和3年～平成20年)	三瓶町蔵貫 (東京都文京区)	実業家。 昭和55年に映画興行を事業内容とする佐々木興業株式会社代表取締役社長に就任。複合映画館「シネマサンシャイン」等を経営。三瓶町に多額の支援を行い、福祉増進と教育文化進展に大きく寄与した。	平成16年 (旧三瓶町名誉町民)
いけだ ただゆき 池田忠幸 (昭和元年～令和5年)	野村町野村	元野村町長、元愛媛県議会議員。 昭和46年から2期野村町長を務める。昭和54年愛媛県議会議員に当選以後、平成15年まで7期を務め、県政の進展に大きな足跡を残した。	平成19年
さかい まさなお 酒井正直 (昭和3年～平成26年)	明浜町俵津	元明浜町議会議員、元明浜町長。 昭和37年から4期明浜町議会議員を務める。昭和53年明浜町長に当選以後、平成16年まで7期を務め、南予用水事業による上水道整備や地域医療の確立、地域活性化に尽力した。	平成19年
うつのみや しょういち 宇都宮象一 (昭和5年～平成29年)	宇和町久枝	元宇和町議会議員、元宇和町長。 昭和33年から3期宇和町議会議員を務める。昭和57年宇和町長に当選以後、平成16年まで6期を務め、県営圃場整備事業による農業経営の近代化や教育文化の振興に尽力した。	平成19年
よしだ かずお 吉田和生 (昭和22年～)	野村町鳥鹿野 (兵庫県芦屋市)	本名:荻野恒利 人形浄瑠璃文楽人形遣い。 昭和42年に文楽協会人形部研究生となり、後の人間国宝、吉田文雀に入門。昭和43年に大阪毎日ホールで初舞台を踏んで以降、芸術選奨文部科学大臣賞をはじめ数々の賞を受賞。平成29年10月、国の重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される。	平成29年

※合併前において既に名誉町民となられた方のうち、西予市名誉市民条例の特例措置により、同条例施行時(平成19年3月28日)にご存命の方は引き続き名誉市民として顕彰しています。